

吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況報告(R2 まで)

1 吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

- (1) 位置づけ 「まち・ひと・しごと創生法」に基づき策定
- (2) 計画期間 2015年度～2023年度（2回延長）

2 「吹田市人口ビジョン」推計及び実績

【推計】

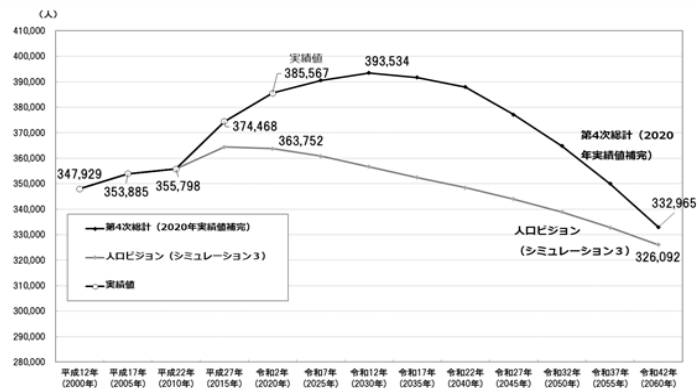
まずは「若い世代の出生・子育ての希望を実現するための政策」を推進し、更に「都市魅力の強化」「子育てしやすいまちづくり」などの施策を進めることで、学生や子育て世帯を中心とした若い世代の定住・転入を促進。それにより

- ・合計特殊出生率が2030年頃までに1.8程度、2040年頃までに2.07程度まで向上
- ・学生をはじめとする若者の転出超過が25%程度抑制され、子育て世帯等の転入超過が促進される

結果として **2060年頃に32万人以上の人口を確保することができると推計**

【実績】

2020年実績値を元にした2060年推計値（第4次総合計画における推計ベース）は332,965人となっており、人口ビジョンで展望している2060年の推計人口を確保できる予測となっている。



3 4つの基本目標の達成状況(数値目標・R2) ※色付きセルが達成

基本目標1 企業が成長し、地域経済に元気をもたらすまち

指標	策定時	R2 実績	目標値
事業所における労働生産性 (従業員1人あたり付加価値額)	480万円	493万円※	504万円
開業率-廃業率	2.1pt	△2.4pt※	3pt以上
商店街等における空き店舗率	9.0%	9.0%	7.3%以下

※H28実績

基本目標2 「住む」「楽しむ」新たな魅力が見つかるまち

指標	策定時	R2 実績	目標値
転入超過を維持	1,939人	2,162人	維持
市民の定住意向	57.8%	61.7%	60%以上
本市観光施設利用者数(累計)	367万人	2,822万人	累計1億人

基本目標3 就職・子育ての希望がかない、未来を担う人材が育つまち

指標	策定時	R2 実績	目標値
就労支援施策等による若年者の就職者数(累計)	299人	1,577人	2,250人
市内大学生の市内企業への就職希望率	30.8%	56.7%	35.8%
安心して子育てができる環境にあると思う子育て世帯の割合	62.3%	63.0%(H30)	70%
保育所待機児童数	90人	8人	0人

基本目標4 誰もが安心して暮らせる「幸齢社会」が実現するまち

指標	策定時(2010)	最新実績(2018)	目標値
健康寿命	男性79.94歳 女性83.66歳	男性81.0歳 女性84.8歳	男性81歳 女性85歳

- ・11の数値目標のうち、達成3、未達成8、達成率27.3%となった。
- ・転入超過の維持、市民の定住意向の高まり、市内大学生の市内企業への就職希望率の向上など、人口増につながる数値目標が達成できた。
- ・子育てや健康・医療の施策に取り組み、保育所待機児童数、健康寿命は目標値に近づいている。

4 アクションプランの達成状況及び課題

基本目標	KPI の状況 (R2)					評価 (R2)		
	KPI 数	達成 ※	未達成	未調査	達成率	施策数	A	B
1 企業が成長し、地域経済に元気をもたらすまち	9	2	7	0	28.6%	5	3	2
2 「住む」「楽しむ」新たな魅力が見つかるまち	14	5	7	2	35.7%	6	2	4
3 就職・子育ての希望がかない、未来を担う人材が育つまち	23	9	14	0	39.1%	9	7	2
4 誰もが安心して暮らせる「幸齢社会」が実現するまち	31	10	21	0	32.3%	13	12	1
合計	77	26	49	2	33.8%	33	24	9

※最新の実績値が R2 以前のものを含む

A：目標達成に向け取組が進んでいる

B：目標達成に向け取組の強化が必要
又は直近実績から後退している

- ・アクションプランの達成状況を図る KPI について、達成 26、未達成 49、未調査 2 で、達成率 33.8% となった。
- ・評価について、33 のアクションプランのうち「A 評価（目標達成に向け取組が進んでいる）」は 24 となった。KPI 未達成には、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響によるものもあり、KPI に掲げる事業以外で基本目標に資する取組を行った場合には A 評価としたものである。

【B 評価となった施策】

基本目標 1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済活性化につながる企業誘致 ・商店街等における空き店舗率
基本目標 2	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信プラザ (Inforest すいた) を拠点とした魅力発信 ・安全・快適な道路環境の整備 ・みどり環境の継承と充実 ・環境先進都市をめざした取組
基本目標 3	<ul style="list-style-type: none"> ・若者と市内企業のマッチング ・健やかに安心して学べる教育環境の充実
基本目標 4	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者が地域で安心して暮らせるための体制整備

5 総括

- ・各アクションプランに基づいて取組は進めてきたものの、KPI を達成できていない項目が多かった。策定から 10 年が経過し、コロナ禍で状況も変化したことから、設定した KPI とは別の取組で補っているものもある。**第 2 期策定に向け KPI を見直すとともに、特に B 評価となった取組を強化するための施策を講じる必要がある。**
- ・人口については 2060 年の推計値が目標の 32 万人以上 となった。子育て支援、健康・医療のまちづくり等の施策に力を入れた結果、転入超過が続いており、とりわけ生産年齢人口の増加が見られたことから、この世代に選ばれるための魅力向上ができたと考えられる。また、市民の定住意向も高まり、満足度が高まっているものと考えられる。

